

平成 26 年 第 10 回定例会

# 岩見沢市教育委員会会議録

平成 26 年 10 月 21 日 開会

平成 26 年 10 月 21 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成26年 第10回定例会  
岩見沢市教育委員会会議録  
(平成26年10月21日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第12号 教育長の一般経過報告について
- 2 議案第56号 平成26年度岩見沢市教育振興表彰について  
そ の 他

○本委員会に出席した者

委 員 長	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	大 橋 弘 道
委 員	佐々木 和 子

教 育 部 長	名 和 田 勉
子育て支援推進担当次長	鈴 木 栄 基
学 校 教 育 課 長	加 藤 信 浩
指 導 室 長	兼 平 晃 成
学 校 給 食 課 長	町 田 隆
生涯学習・文化・スポーツ振興課長	相 河 学
子 ど も 課 長	所 美 穂 子
図 書 館 長	勝 田 真 澄
緑陵高等学校事務長	佐 藤 昌 明
事務局学校教育課総務係長	武 田 弘 毅
事務局学校教育課総務係	虎 谷 淳

午後 2 時 0 0 分 開会

○武蔵委員長 それでは、ただ今から平成 26 年第 10 回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、佐々木委員さんをお願いします。

初めに、日程番号 1、報告第 12 号 教育長の一般経過報告について 説明をお願いします。

○名和田教育部長 平成 26 年 9 月 10 日から 10 月 9 日における事務処理の概要につきまして、ご説明申し上げます。

9 月 10 日、総務常任委員会において、子ども・子育て支援新制度施行に向け、国で定める基準を踏まえた 3 条例案を審査いただき、12 日、市議会定例会最終日に可決されております。

9 月 19 日、岩見沢市教育振興表彰選考委員会を開きまして、本日の議案第 56 号においてご提案いたしますとおり、7 名の方を選考いたしております。

9 月 22 日、25 日、30 日、10 月 2 日、7 日、後半の教育委員学校視察が各委員さん出席のもと行われ、無事に終了いたしました。その結果報告については、後ほど指導室長よりご報告いたします。

10 月 9 日、栗山町で開催されました、南空知市町教育長会定例会議に出席いたしました。

以上でございます。

○武蔵委員長 ただ今、名和田教育部長から一般経過報告がございました。委員の皆様、何かご質問ご意見等ありましたらお願いいたします。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 ないようですので、本報告については終了させていただきます。

続きまして、本日の議案に対する提案理由について、説明を求めます。

○名和田教育部長 それでは私の方から、議案第 56 号、平成 26 年度岩見沢市教育振興表彰についての、提案理由をご説明いたします。

平成 26 年度教育振興表彰の被表彰者の選定について、ご審議を願うものであります。

○武蔵委員長 それでは、日程番号 2、議案第 56 号 平成 26 年度岩見沢市教育振興表彰について を審議いたします。説明をお願いいたします。

○加藤学校教育課長 議案第 56 号について、ご説明をいたします。

去る 9 月 19 日、教育長を選考委員長とする選考委員会を開催し、7 名を選考いたしました。つきましては、各被表彰者の概要につきまして、別紙推薦書によりご説明いたします。なお、3 課にわたり、順次説明員を交代してご説明させていただきます。

まず学校教育課でございます。

推薦団体は、一般社団法人岩見沢市医師会でございます。医療法人社団 竹内眼科医院の竹内勉氏でございます。

昭和61年4月に岩見沢市で開業以来、現在まで、市内では数少ない眼科医として地域医療に専念する傍ら、開業と同時に学校協力医として現在まで約28年もの長きにわたり、市内の小中学校の健康診断や保健管理等の助言、指導に積極的に携わり、児童・生徒の健康の保持増進にご尽力されている方でございます。

表彰の対象となる経歴ですが、昭和61年4月より現在まで学校協力医としてご尽力いただいております。

また、平成7年4月から平成16年2月までは岩見沢市医師会の理事、平成17年5月から平成21年3月までは同会の監事として役員をされている方でございます。

以上でございます。

○武蔵委員長 はい、続けてお願いします。

○所子ども課長 子ども課から推薦いたしました、岩見沢市青少年センター補導員連絡協議会会長荒井忠男氏についてご説明いたします。

荒井氏は昭和63年6月に青少年センター補導員になられたのをスタートに、平成16年から10年の長きにわたり、補導員連絡協議会会長として、青少年の非行防止と健全育成に努めてこられました。

その間、会の円滑な運営はもとより、市内各地域の実情に応じたきめ細やかな補導活動を推進し、平成25年度からは補導員研修会の定例的な実施を実現させるなど、組織育成のためにも熱心に活動され、また自らも率先して青少年と接し、非行防止に取り組む姿勢は他の補導員の模範となるものであります。

以上のことから、表彰基準第2条第2号に基づき推薦いたしました。

以上でございます。

○武蔵委員長 はい、続けてお願いします。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 続きまして、生涯学習・文化・スポーツ振興課からは5名の方を推薦させていただいております。

最初に、文化功労の近藤尚氏でございます。当課から推薦させていただきました。

近藤氏は、昭和40年より「こぶし焼き」の陶芸家山岡三秋氏に師事し、昭和56年に栗沢窯を開かれ、その作品が市民はもとより広く愛好家の方々に親しまれております。

平成3年からは栗沢工芸協会会員、さらには平成7年からは会長として「栗展」の開催にご尽力され、市民に芸術鑑賞機会を提供し、本市の芸術・文化の振興に寄与された功績は多大でございます。

また、岩見沢市立明成中学校や栗沢中学校など市内中学校において長きにわたり、陶芸指導に取り組まれるとともに、技能ボランティア海外派遣協会の依頼により、フィリピン共和国トウゲガラオに陶芸指導に出向かれるなど、本市の文化向上に貢献された功績は顕著でございます。

以上のことから、表彰基準第2条第2号に基づき推薦させていただきます。

次に、同じく文化功労の山内富美氏でございます。

推薦団体は岩見沢文化連盟でございます。

山内氏は昭和39年に茶道の表千家に入門され、昭和54年からは表千家山内社中の社主、その後表千家教授として後進の指導に努められるなど、茶道の普及・発展にご尽力されています。

特に昭和48年から岩見沢神社での茶会を担当され、朝茶会や七五三茶会など、熱心に取り組まれ地域の方々に大変喜ばれております。

また、平成元年から平成16年までは文化連盟理事としてご活躍され、連盟の発展と地域文化の向上にご貢献されております。

以上のことから、表彰基準第2条第2号に基づき推薦させていただきます。

次に、同じく文化功労の岡嘉彦氏でございます。

推薦団体は岩見沢文化連盟でございます。

岡氏は昭和46年より川柳の作句活動を始められ、岩見沢柳の芽川柳会の会長、また北海道川柳連盟常任理事として長年にわたり、岩見沢はもとより全道の川柳の普及と発展と地域文化の向上にご尽力されています。

特に川柳講座や講演会の講師や句会などの選者を務められるとともに、柳誌の発刊を継続させるなど、地域の生涯学習の推進に熱心に取り組まれています。

また、岩見沢文化連盟では平成6年より実行委員として市民の文化祭や郷土芸能祭など文化事業に参画され、平成25年には岩見沢文化連盟や空知文化団体連絡協議会の会長に就任され、文化団体のリーダーとして地域文化の向上発展にご尽力された功績は多大でございます。

以上のことから、表彰基準第2条第2号に基づき推薦させていただきます。

次に、体育功労の三上信美氏でございます。

推薦団体は岩見沢バレーボール協会でございます。

三上氏は平成9年より岩見沢ママさんバレーボール協会の会長を務められ、長きにわたりバレーボールの普及にご尽力されております。

また、今なお現役のプレーヤーとしてご活躍され、生涯スポーツとしてのママさんバレーのあるべき姿を示され、会員にも慕われており、地域スポーツの振興発展に大変ご貢献されております。

以上のことから、表彰基準第2条第2号に基づき推薦させていただきます。

最後になります、同じく体育功労の倉本昭義氏でございます。

推薦団体は岩見沢卓球連盟でございます。

倉本氏は昭和62年より岩見沢卓球連盟事務局長、理事長、副会長の要職を歴任され、岩見沢市の卓球の普及発展のためにご尽力されております。

特に平成6年から15年間にわたり卓球連盟の理事長として連盟の発展、卓球大会の開催運営にご尽力されるとともに、後進の指導育成に力を注がれております。

また平成15年からは岩見沢体育協会理事として協会の運営管理にご尽力され、協会の

発展さらには地域スポーツの振興に寄与された功績は多大でございます。

以上のことから、表彰基準第2条第2号に基づき推薦をさせていただきます。

以上でございます。

○武蔵委員長 はい、ただ今議案第56号についての説明がありました。

事前に資料をご覧になっているかと思いますが、この件につきまして委員の皆様ご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 よろしいでしょうか。それでは議案第56号につきましては、提案どおり決定とさせていただきます。

皆さん本市の教育振興のために、様々なご貢献をされている方たちばかりです。

それでは議案につきましては以上です。その他の方に移ります。

委員の皆さんから何かございますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 なければ事務局の方からありましたらお願いいたします。

○兼平指導室長 私の方から、今年度の教育委員学校視察のまとめについてご報告させていただきます。

資料をご覧ください。

1、2、3を飛ばしまして、4の視察の成果や課題をご覧ください。

(1)の授業参観について、でございますが、全ての学級を参観することができて良かったと思っています。

参観にあたって「今日は特にここを見てほしい」と、参観の観点を示していただく学校があり助かりました。

一方、毎年申し上げていても、今なお道德の時間の授業を設定していただけない学校がありましたので、校長会議・教頭会議で強くお願いしたところでございます。

今年度、校内研究課題と関連した授業を設定するよう申し上げたところですが、今後の課題というのが率直な感想だと思います。

学校で統一した授業スタイルなど、いわゆる学校力向上の取組について、特に小学校において昨年度から見て進んでいる様子が見えましました。一方で、学校間の差ははっきりしてきた感がございます。

小中連携による9年間を見通した学力向上の取組が、ようやく始まったという印象でございます。今後に期待したいと思います。

「学級目標」は、通常学級のほぼ全てで掲示されておりましたが、それと分からない掲示、もしくは、高学年になるほどスローガンのような内容が多いということで、これは改善していくべき内容だと思います。

「本時の課題」の明示は、昨年度は3割くらいでしたが、本年度は5割程度、まだ改善の余地があると認識しています。

板書については、依然として板書がなかったり、内容がどうかなというものも多くて、岩見沢の課題と認識しております。今後力を入れて改善を図っていきたいと思います。

道徳の時間の授業については、「わたしたちの道徳」を活用する授業がたくさんあったのですが、一方で「わたしたちの道徳」はあくまで「心のノート」ですから、その活用の仕方について各学校で教育課程での位置づけを含めて早急に検討が必要だと思えます。

(2)の説明・懇談内容でございますが、各校学力向上について経年変化を押さえ、教職員全体での研修を進めている様子うかがえました。

今後は成果が分かる資料を提示してもらうように働きかけてまいりたいと思います。

5のその他でございますが、教育委員に観てもらおうという意識持ってもらえる学校が増えてきたかなと思えました。

説明では、校長・教頭に加えて主幹教諭や各部の主任の先生がしてくださる学校が増えてまいりました。その際、ある学校では校長先生が重点としている点をしっかりと受け止めて、管理職と職員が一体となっている様子うかがえまして、大変関心したところでございます。これについては、校長会議・教頭会議で紹介させていただきました。

以上、今年度の反省を踏まえまして、次年度も計画してまいりたいと思います。

今年度の視察に改めて感謝申し上げます。以上でございます。

○武蔵委員長 はい、今指導室長の方から学校視察のまとめについて報告がありました。委員の皆さん、ご意見ご感想等ありましたらお願いいたします。

○大橋委員 27の学校と幼稚園を回り、その都度感想を述べさせていただきましたが、総括的にまとめていただいたこの報告を見ますと、私が感じていたことは全て取り上げられているようです。

特に、4の(1)にもありましたように、教育委員が視察に行った時に、意識して授業を公開していただける学校がたくさんあったということで、その辺は年々改善されていると思えました。

学校力向上の方策や授業改善プランを示していただいているのですが、書類による説明ではなく、具体的には授業等を通して説明されますことから、プランのとおりになっている学校と、そうっていない学校との差を感じましたので、次年度に向けて校長会議等を通してご指導をお願いしたいと思えました。

また、学習発表会などが近く忙しい中でも、日程調整について工夫していただいた学校もあったので、次年度に向けできる限りその練習風景ではなく、子どもたちの普段の授業が見られるように働きかけをしていただきたいと思います。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございました。確かに学習発表会の練習と体育が集中していた学校もありました。

その他よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 日程調整について、私からの希望ですが、月末や月曜日の朝は都合が悪くなるのが想定されますので、できればその辺を配慮していただければと思います。

○兼平指導室長 はいわかりました。

○武蔵委員長 よろしいですか。では学校視察につきましては以上とさせていただきます。他にありませんか。

○兼平指導室長 続けて、岩見沢市教育行政方針中間評価についてのご報告をしたいと思えます。

資料をご覧ください。A3判の資料は、各校の評価をまとめたものでございます。

従前は達成率8割未満のものをご報告させていただいておりましたが、今年度は全ての項目について各学校8割以上の達成率をあげましたので、9割未満の項目を残された課題ということで取り組むことといたしました。6項目について、9割未満という結果になりました。

一つは、「心のノート」と資料の効果的活用、積極的な授業公開による「道徳の時間」の授業の充実が88%でした。

先に通知されました全国学力学習状況調査結果におきまして、岩見沢の子どもたちの自尊感情・自己肯定感が低いという小学校における課題が明らかになったところですので、今後充実を図っていなければならない項目と押さえております。

同じく、新体力テストによる児童生徒一人ひとりの体力の状況の把握と、分析結果を踏まえた体育の授業の改善・充実が83.3%。各種スポーツ大会やスポーツ教室等、積極的な運動の機会への参加が88%となりました。

この運動能力に関しましても、昨年度の結果では、岩見沢は全国でも低いレベルとなっておりますので、充実していかなければならない項目だと考えております。

将来の生き方や望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育の充実が87.5%、公開研究会の実施状況が85%でした。

先の教育委員学校視察で各学校を訪ねたところの印象でございますが、各学校教育行政方針の達成を意識し、取組が展開されるようになってきたという印象を持ちました。

この中間報告はそれを裏付ける結果になったと思っておりますが、先に挙げた6項目を中心として、達成率が100%に近づくように、引き続き各学校に指導してまいりたいと考えております。

私からは以上でございます。

○武蔵委員長 はい、教育行政方針の中間評価の報告でした。これにつきまして委員の皆様から何かありませんか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 ないようですので、この件につきましては以上で終わらせていただきます。

その他ありませんか。

○所子ども課長 子ども・子育て支援事業計画の意見募集について、並びに青少年問題協



議会からのメッセージについて報告させていただきます。

子ども・子育て支援事業計画について、クリップ止めした一枚目の資料が広報11月号の原稿となっております。校正途中のもので、若干変わる可能性もございますが、内容的には変わる予定はございません。

計画策定に当たりまして昨年度から作業を進めてまいりましたが、この度計画の概要案がまとまりましたので、広報11月号などを通じて計画に対する意見を募集することとなりました。

概要については広報には掲載しきれませんので、資料の（案）という形で付けさせていただきます印刷物、こちらを教育委員会ホームページに掲載するほか、子ども課の本庁、であえーる両方の窓口、北村・栗沢両支所で配布したいと考えています。

内容について簡単に説明させていただきます。

3ページをご覧ください。計画の基本方針を掲載しております。

基本理念は「ひとの絆で紡ぐ 笑顔の輪」です。子どもと子育てを支援することで子どもの笑顔が保護者へ、支援者へ、地域の人へとつながっていくイメージで、笑顔は市民の満足感や自己肯定感、喜びや希望といったものを表しています。

基本的な考え方は、「子どもの成長を支える」「子育てを支える」の2つに絞りました。具体的方策としては「安全」「安心」「笑顔」の3つの視点で、優先度などを整理します。安全が保障され安心して子育てができてこそ、子育てを笑顔で楽しいと感じ、希望を持つことができるといったイメージです。

基本方針をもとに、現状分析、計画の校正、主な事業、新規・拡充事業などについてこの資料の中で述べています。これらを公表し、市民の皆様のご意見をお聞きした上で、3月完成を目標に計画策定を考えています。

続きまして、青少年問題協議会のメッセージでございます。

青少年問題協議会は市長を会長として、青少年の指導育成、保護、矯正に関する課題に対し、関係機関が連携して対応を協議する組織です。

6月26日に開催されました岩見沢市青少年問題協議会の中で、子どもを取り巻くインターネットやLINEなどのSNSに関する懸念が話題となりました。携帯電話の所持については、PTA連合会が持たせないという方針を出すなどの取組をこれまでしてまいりましたが、急激なIT環境の変化に青少年問題協議会として、何らかの動きをするべきではないかという意見があり、メッセージを発信することにしました。

メッセージはお手元の資料のとおり、基本的な内容となっておりますが、このメッセージの発信をスタートとして具体的な注意事項をまとめるほか、中学生自身が対応を考えるワークショップなども今後企画していきたいと考えています。

メッセージについては今後校長会を通じて発信していくほか、教育委員会ホームページへの掲載、報道発表、行事の際での配布など様々な機会をとらえて発信していきたいと考えておりますのでどうぞご覧下さい。

私からは以上でございます。

○武蔵委員長 はい、子ども課から2点報告がありました。

皆さんの方から何かご意見ご質問がありましたらお願いします。

発信する時には、何か視覚に訴えるようなものになりますか。

○所子ども課長 これは文案なので、実際にはもう少し視覚に訴えるようデザインしたものを発信したいと思います。

○武蔵委員長 はい、お願いいたします。

その他、何かございませんか。

○加藤学校教育課長 先ほどご決定いただきました、議案第56号の岩見沢市教育振興表彰の関係でございます。

今年度は、来月11月6日木曜日午後6時から、岩見沢グリーンランドホテルサンプラザで表彰式を開催させていただきたいと思いますので、委員の皆様にはぜひご出席のほどをよろしくお願いいたします。

○武蔵委員長 はい、教育振興表彰式の日程のお知らせでした。11月6日、委員の皆様よろしくお願いいたします。

○加藤学校教育課長 後ほど、正式に文書にてご案内申し上げます。

○武蔵委員長 はい。その他ありませんか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 なければ、来月の定例会の日程を決めたいと思います。

第3火曜日、定例日は11月18日、火曜日となりますが、委員の皆さんそのとおりでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 時間も午後2時からということでよろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 はい、それでは次回、第11回定例会は平成26年11月18日午後2時から、であえーる3階の会議室1ということで決定させていただきます。

よろしく申し上げます。

それでは以上をもちまして、第10回教育委員会定例会を終了させていただきます。

ご苦労さまでした。

午後2時30分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第16条の規定により、ここに署名する。

署名委員